

保健師職能だより



Vol. 4 (令和8年4月発行)

ご挨拶

日頃より、それぞれの地域や職域において、住民の健康と暮らしを支える保健活動にご尽力されている皆さまに、心より敬意を表します。

保健師の活動の場は、地域、職域、教育、医療、福祉など多岐にわたり、健康課題や生活課題が複雑化する中で、その役割はますます広がっています。だからこそ今、所属や立場を越えて、保健活動に携わる仲間がつながり、最新の動向や実践を共有しながら、学び合い、支え合うことが大切だと感じております。青森県看護協会や日本看護協会においては、各種研修会や、助産師職能・看護師職能との合同研修会など、学びと交流の機会が数多くございます。

そして、保健師職能委員会でも、さまざまな立場の保健師が集い、互いに交流・研鑽できる場づくりを進めるとともに、保健師活動の課題やニーズの把握に努めております。また、次世代に保健師の仕事の魅力を発信し、保健師の人材確保にも取り組んでいるところでございます。

今後も、よりよい保健活動につながる発信と場づくりを進めてまいります。非会員の皆さまにおかれましても、この機会にぜひ保健師職能の活動に関心をお寄せいただき、ご加入についてご検討いただけますと幸いです。

保健師職能委員長 笠原美香



～先輩からのメッセージ～

今回は、令和4年度まで看護協会にてご活躍され、現在は青森県看護連盟会長の大鱈 恭子様からメッセージをいただきました。



皆様、お元気ですか。

このたびの原稿依頼に感謝申し上げます。機会を頂きましたので、思い浮かぶままに書いてみます。

保健師活動の原点を実感したのは、故人となられた先輩保健師（元上司）の言葉、『地域を揺さぶると問題が出てくる』。当時、もっと実態把握をと、精神障害者の家庭訪問を各保健師がこまめに行うと、それまで静かだった地域がざわつき出しました。ニーズが一気に吹き出したのです。上司は、地域に入れば入るほどニーズが顕在化する。これでいいのよ、施策化につながると言われました。

数年前、保健師職能集会の講師（公衆衛生医師）が、劇作家寺山修司の「書を捨てよ、町に出よう」の一節を引用して『保健師さん、パソコンを捨てて町にでよう』と講演を結びました。保健師活動の本質をついた言葉だと思いました。

看護機能が在宅等地域にシフトしつつある中で、保健師は地域を担当する唯一の公衆衛生看護職です。日進月歩の医療・看護に関する知識も持ち合わせ看護機能を発揮するためにも、看護協会に入会し、研修や事業を大いに活用してほしいと思います。

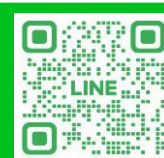
保健師として感じていることを変えるには、待つのではなく自ら動くことが大切だということをお戒の念を込め皆様にお伝えしたいと思います。

令和8年度の年間計画について

昨年度は、各種研修にご参加いただきありがとうございました。
今年度も下記のとおり行事を企画しておりますので、奮ってご参加ください♪

～・～参加者募集中です～・～

月日・時間	内容
6/20 (土) PM	事業名：保健師職能集会 (*1) 場 所：リンクモア平安閣市民ホール 内 容：①講演「保健活動に活かせる“ナッジ (行動経済学)”」 講師 青森大学客員教授 竹林 正樹 氏 ②交流会「保健師のしゃべりの場！」 *保健(師)活動のあれこれをしゃべり倒しましょう!!
7/25 (土) PM	事業名：看護の魅力発信事業 (*2) 場 所：アピオあおもり 内 容：※計画中の内容です。 ・トークセッション 『看護の魅力について』 ・体験ブース 保健師魅力発信コーナー
10/17 (土) PM	事業名：看護職の連携のための圏域内交流会 (4職能+三八支部合同) 場 所：三八圏域内で調整中 内 容：決まり次第協会公式 LINE 等でお知らせします。
年2回	事業名：「保健師職能だより」の発行 ★青森県看護協会ホームページに「保健師職能だより」のバナーを掲載しております。これまで発行した「保健師職能だより」もご覧いただけますので、ぜひご覧ください。



青森県看護協会
公式 LINE

(*1) 青森県看護協会通常総会・保健師職能集会へ参加してみませんか

保健師職能だけのしゃべりの場(交流会)を企画しました!地域活動での困り事、保健師としてのキャリアアップ、そもそも保健師って?…等々、吐き出せていないことを交流会でしゃべってみませんか?保健(師)活動のあれこれについて、短い時間ですがしゃべり倒しましょう!ご参加お待ちしております(*^-^*)

★懇親会もございます。詳細は、別紙職能集会チラシをご覧ください。

<懇親会のお誘い> 17:00~/定員 15名/会費 3,700円+飲み物代/「海鮮創作 海坊厨」

(*2) 保健師の魅力発信のためのイベント計画中

保健師の活動内容や魅力を発信し、人材確保へつなげる取り組みとして下記を計画しています。

「トークセッション」

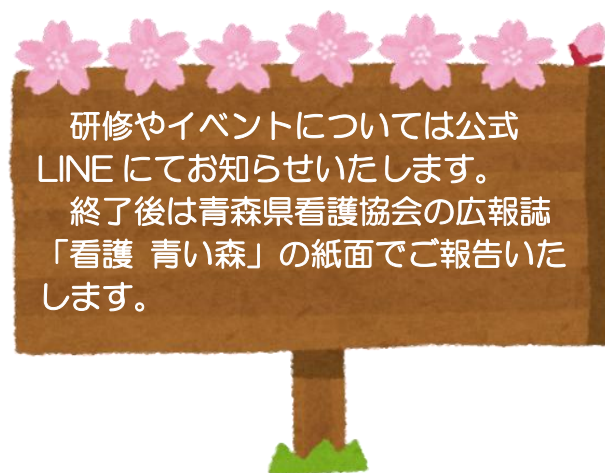
保健師の活動や役割、やりがいについて、参加者に伝える機会です。

現役保健師から、保健師になったきっかけや、やりがい、どんなお仕事をしているのかなど、保健師の魅力をたっぷりとお届けしたいと思います!

「体験ブース」

保健師のお仕事体験、なんでも相談ブースなどにより、体験を通して保健師の魅力を発信する機会です。

相談ブースでは、「保健師になるための進路は?」「看護師経験は必要?」「国試対策は?」など現役保健師に根ほり葉ほり聞ける機会にしたいと思います。



研修やイベントについては公式 LINE にてお知らせいたします。

終了後は青森県看護協会の広報誌「看護 青い森」の紙面でご報告いたします。



保健師活動の紹介



鱈ヶ沢町（こども家庭センター）の紹介

鱈ヶ沢町ほけん福祉課 井上 信子さん

当町では、健康こども班内に保健師・助産師等を配置したこども家庭センターを設置し、育児に寄り添ったサポート体制の充実とこどもたちの笑顔あふれる街づくりを目指しています。

今回は、令和7年度に開催した「みんなで子育てフェスティバル」を紹介します。こどもの遊びの場、保護者の交流の場、安心・安全で楽しく子育てできる環境づくりを目的に春と秋の2回開催しました。町内に屋内で遊べる場がないという意見がフェス開催のきっかけで、じゃあ、どんなことができる？とみんなで意見を出し合い、社会教育担当とつながろう、子育てサポートセンターにも協力してもらおう、地域に子育てを応援してくれる関係者や団体があるかも、と小さな町の顔が見えるネットワークを活かして協力者がどんどん増えていきました。リズムトレーニング、マイクラフト体験、ミニピアノコンサート、多肉植物の寄せ植え体験、親子で工作、お譲り会、軽食販売、キッチンカーなど、こどもも保護者も楽しめる内容がぎゅっと詰まったギフト箱のようなフェスになりました。会場に広がるこども達の笑い声、パパ・ママの笑顔を見て、地域で支え合うことの意義を感じました。

保健師として、行政内の横のつながりや地域の協力者とのネットワークを大切に、母子保健・児童福祉の向上、子育て支援の充実に努めていきたいと思えます。

〈イベントの様子〉



青森県三戸保健所の紹介

青森県三戸保健所 健康増進課 鈴木 美佳さん



青森県三戸保健所公式キャラクター
「さんべいず」

皆さん、三戸保健所がどこにあるかご存知ですか？三戸にあるんでしょ？と勘違いされることがありますが、実は八戸市内にあります。八戸市保健所の設置に伴い、三戸保健所は、三戸郡6町村とおいらせ町を管轄しています。

三戸保健所の特徴的な保健活動として、働き盛り世代の健康づくり支援の取組があります。八戸圏域は、県内で最も事業所数が多く、また、壮年期の死亡率が高いことは、県全体の課題でもあります。そこで、令和元年度から、事業所の従業員に対し、「栄養」「運動」「こころ」「喫煙」「口腔」「糖尿病」「がん」の7分野について、専門職が出前健康講話・実技指導や資料提供を行う「働く人の健康づくり応援プログラム」を展開しています。市町村、地域の多様な専門職、関係機関の協力をいただき、地域一体となって、働き盛り世代への健康づくりを推進しています！



青森中央学院大学看護学部の紹介～保健師教育機関から～

青森中央学院大学看護学部 菊池 美智子先生



現在、文部科学省管轄の保健師教育機関としては、全国で看護師と保健師の統合カリキュラム（4年制）の養成校が最も多く、本県では6つの大学が4年制の中で保健師教育を行っています。6大学の保健師教育課程定員を合わせると125名ほどですが、志望者が減少傾向であることや、さらに新卒で保健師を目指す学生も各校1～3割程度にとどまることから、現行カリキュラムでの養成の難しさを感じています。そのような中で、各養成校では保健師活動の魅力ややりがいを伝えるため、教育内容や授業方法に工夫を重ねています。特に、現場の皆様にご協力いただく講義や臨地実習でのご指導は、学生にとって生きた学びとなり、保健師への理解と関心を確実に高めてくださっています。心より感謝申し上げます。

一方、大学は研究機関として、地域の健康課題への取り組みや保健師活動の評価を通してより良い形にしていくお手伝いをするのも大切な役割と考えています。また、看護学に限らず各研究・専門分野で「出前講座」を行う大学もありますので、地域の皆様の活動にぜひご活用ください。

今後も、地域の実践と大学教育が相互に結びつき、よりよい保健師育成と地域づくりに貢献できるよう努めてまいります。

委員長報告（今回は副委員長の中村菜穂子さんからの報告）

◎2025年度第2回全国保健師職能委員会報告（令和8年3月6日（金）開催）



○2026年度保健師職能委員会活動方針の説明がありました。

- 1) 活動目的：保健師職能の強化（課題発見・意見集約）、会員確保・定着促進
- 2) 活動内容：①保健師の体系的なキャリア形成/生涯学習に向けた意見集約・課題発見、②2040年に向けた保健師の保健活動のあり方に係る意見集約・課題発見、③保健師会員の確保・定着に向けた情報発信

○上記活動内容に関連する日本看護協会の事業として、2026年秋以降に看護職のキャリア形成に係るポータルサイト「NuPS（ナップス）」の提供を開始予定とのことです。看護職の年代や就業状況に合わせた情報提供がされる予定ですので活用してみてください。また、いよいよ2026年度内に「改正保健師活動指針」が厚生労働省から示される予定とのことで、日本看護協会保健師職能委員会では、その内容を分かりやすくまとめた小冊子を作成し、2040年を見据えた保健師の保健活動のあり方についての普及・啓発を図る予定です。こちららも完成しましたらぜひ目を通していただき、人材育成等にご活用いただければ幸いです。

あなたの入会（再入会）をお待ちしています

青森県看護協会入会についてのご案内→→→→→
右のQRコードから入会ページへGo！



～編集後記～

お忙しい中、最後までご覧いただきありがとうございます。
職能だよりでは、会員の皆さまの保健活動に少しでも役に立つ情報をお届けできるよう、今後も取り組んでまいります。地域の中で活躍する仲間の姿が、明日からの活動の小さなヒントになりますように。（畑中）

